

| 第2回川口市行政評価外部評価委員会（第一部会） | | | |
|-------------------------|---------------------------------------|------|-----------------|
| 日時 | 令和2年7月13日(月) 13:30~15:15 | 場所 | 第一本庁舎6階 601大会議室 |
| 評価委員 | 石川部会長、高田委員、高德委員、吉村委員、稲垣委員 | 傍聴者数 | 1名 |
| 事務局 | 企画経営課：藤田課長、竹田課長補佐、田中主査、秋山主査、菅原主任、菊池主事 | | |

| | |
|------|-----------------------|
| 評価事業 | クリーン推進員事業 |
| 担当課 | 環境部 資源循環課 |
| 説明者 | 岡田課長、江原課長補佐、岩田主任、古市主事 |

ヒアリング

◆ 事業の概要及び補足資料について、岡田課長より説明

◆ 説明を受けて、委員から事業に関する質疑応答

質疑応答

- ・ 部会長
 - 1 ページ、「1 実施計画事業評価調書」の「2 事業概要」の主な実績に「感謝状贈呈式及び委嘱書交付式参加者数 440 人」と記載があるが、感謝状の贈呈者や委嘱書の交付者はあらかじめ決まっているため、この項目は実績にならないと思うがどうか。
 - ◇ 感謝状贈呈式及び委嘱書交付式とともに、参加者全員を対象に講習会を実施したため、主な実績とした。
 - クリーン推進員の報償金はいくらか。
 - ◇ 月額 1,800 円である。
 - クリーン推進員の主な仕事はどのようなものか。
 - ◇ 廃棄物の減量及び適正な処理の普及啓発に関すること、廃棄物の分別及び排出指導等に関すること、集団資源回収並びに環境美化活動の指導及び協力に関すること、廃棄物及び再生利用対象物保管場所（ゴミ集積所）等の調査に関すること、その他市の施策への協力に関することである。
- ・ 委員
 - クリーン推進員を知らない市民が多いと思うが、市民に対し、PRは行っているのか。クリーン推進員の存在がもっと市民に周知されていたら、ゴミの処理に関して不明なことがあった場合に、相談できる等、町会活動においても、活動の幅が広がると考える。
 - ◇ 環境部で発行している『清掃事業概要』や『清掃のあらまし』等で周知している。
- ・ 委員
 - 7 ページに記載のある活動報告書の提出率について、提出率が 60%後半で推移しているが、この数値について、担当課ではどのように受け止めているのか。
 - ◇ 資源循環課でも提出率が低いと認識していることから、報告書の提出を促す旨の通知をクリーン推進員全員に今月郵送し、報告書の回収率アップに努める予定である。
- ・ 部会長
 - 1 ページ、「1 実施計画事業評価調書」の「5 視点評価」について、「必要性」を満点としているが、どのような客観的な基準をもって満点としたのか。

◇ クリーン推進員より提出された報告書を基に、ゴミに関する問題について対処していることも含め、「現在の市民ニーズ」については、「必要性」が「高かった」と判断した。また、各町会よりゴミ集積所の不法投棄等についての報告もあり、環境美化の向上にも協力いただいているため、「市関与の必要性」や「将来的な市民ニーズ」についても「高かった」と判断した。

➤ クリーン推進員は、必要な定員を満たしているのか。

◇ 2ページの下段に、町会単位の定数等について記載している。令和2年4月1日現在では、定員が656名であるところ、実際に委嘱した人数が651名であった。

・ 委員

➤ クリーン推進員の活動のイメージは、どのようなものか。

◇ 活動方法については、各町会に一任している。具体的な内容としては、各地区のゴミ回収後、クリーン推進員がゴミ集積所を確認し、不法投棄やゴミの出し方等に問題があった場合や事業系廃棄物があった場合、資源循環課へ連絡いただき、対応や指導等を行っている。

➤ 町会によりクリーン推進員の活動意欲が異なると思うが、すべて一任か。

◇ 活動があまりなされていない町会に関しては、ゴミ集積所が不潔になり、住民からクレーム等があることが多いため、そのような場合には、資源循環課からクリーン推進員に連絡し、状況確認の後、対応や指導等を行ってもらう等の連携を図っている。

・ 部会長

➤ ゴミの出し方等がよくないゴミ集積所については、クリーン推進員の責任になるのか。

◇ 責任を問うことは行っていない。そのようなゴミ集積所の周辺には、冊子等を配布し、対処している。

・ 委員

➤ 2ページに記載のあるクリーン推進員の定数等について、外国籍の住民の多い西川口や芝園周辺の状況を踏まえずに、単純に世帯数で定員を決めてもよいのか。ゴミ問題の多い外国籍住民が多い地域は、クリーン推進員の定員を増やしてもよいのではないか。

◇ クリーン推進員の成り手の確保が難しいため、ある一定の基準を設けて推薦いただく方法が良いと考える。委員指摘のそのような地域については、クリーン推進員の活動だけでなく、巡回を多くする等、市による対応も手厚くし、対処しているところである。

ディスカッション

◆ 質疑応答を経て、委員同士でディスカッション

・ 委員

➤ 報告書を提出することを踏まえると、月額1,800円は安いと思うが、他市もほぼ同程度の報償金であるため、致し方ないのか。

・ 委員

➤ 他市に比べると、川口市の報償金は高いほうである。

➤ 報告書の提出率も少なすぎる。報告書の様式を簡易的にしてはどうか。

- ・ 部会長
 - 報告書を提出しなくても、報償金は支給されるということか。10ページ、「7 他市の状況」に記載のある市で、報償金が「－」がとなっている市は、無報酬ということか。
- ・ 委員
 - さいたま市のクリーン推進員は、無報酬にもかかわらずかなり多い。
- ・ 部会長
 - 地域や町会によっても、活動内容が異なってくるため、役割が不明確である。
- ・ 委員
 - 1ページ、「1 実施計画事業評価調書」の「4 年度別事業費」の従事職員人数について、記載のとおりとした基準はなにか。
- ・ 委員
 - クリーン推進員の周知が徹底されていない。町会に携わっている市民しか知らないのではないかと感じる。PRが足りないと感じる。
- ・ 部会長
 - 9ページ、「6 事業導入前後比較」について、数値での把握は行っているのか。
- ・ 委員
 - カラスのネットカバーがないゴミ集積所が見受けられるが、配布が行き届いていないのか。もしくは、地域の問題であるため、該当のゴミ集積所のみ配布されているのか。

次回に向けた確認

◆ ディスカッションの結果について、部会長から事業担当課へ伝達

- ・ 部会長
 - クリーン推進員の役割が不明確である。活動状況については、報告書で確認すると思うが、報告書が提出されていない町会の活動状況は、どのように把握しているのか。また、報告書の様式を簡易的にするなど、提出率を向上する方法を模索したほうがよいのではないかと。
 - 従事職員人数を設定した基準はなにか。数値の基準について、具体的に説明してほしい。
 - 他市との比較で、「－」とした基準はなにか。無報酬ということか。
 - ☆ 「－」は無報酬である。また、さいたま市、熊谷市、春日部市は、活動報告書の提出も行っていない。
 - クリーン推進員の認知度が低いようである。いつ頃どのように巡回している等、実際の活動状況を具体的に説明してほしい。
 - 事業導入前後比較について、数値や状況の変化等を裏付ける具体的な根拠が必要ではないかと。
 - カラスネットがない町会もあるとのことだが、配布の状況はどのようになっているのか。
 - ☆ 各町会に一任している。歩道上の場合、道路状況によっては設置できない場所もある。町会にゴミに関する助成金を交付しているため、その助成金の中で、町会に対応いただいている。

| | |
|--|-------------------------|
| 評価事業 | 文化財センター施設運営費・郷土資料館施設運営費 |
| 担当課 | 教育総務部 文化財課 |
| 説明者 | 風間次長、宇田課長補佐、鈴木係長、谷川主任 |
| ヒアリング | |
| <p>◆ 事業の概要及び補足資料について、風間次長から説明</p> <p>◆ 説明を受けて、委員から事業に関する質疑応答</p> <p>質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部会長 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 1ページ及び2ページの「1 実施計画事業評価調書」の「5 視点評価」について、両事業とも、「必要性」を満点としているが、客観的に市民ニーズを測った方法はなにか。 ☆ 来館者に対して、アンケートを行っている。アンケート結果を基に、幅広い層の方に親しみやすい施設となるよう、常日頃模索している。 ▶ 来館したことのない市民へのアプローチは、どのように行っているのか。 ☆ 広報かわぐちや市ホームページ、SNS等で周知し、来館者の増加を図っている。 ・ 委員 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 8ページ、「7 今後の施設のあり方について」について、「施設の老朽化により、移転や集約化が課題となっている」との記載があるが、老朽化とともに検討すべきなのが、両施設とも交通の便が悪く、駐車場も少ないため、集客が限られてしまうという点である。移転や集約化となった場合、利便性の良い川口駅周辺に移転したほうがよいと思うが、担当課ではどのように考えているのか。 ☆ 今後、移転となった際には、利便性の高い場所への移転や両施設の統合について、検討していかなければならない。 ▶ 時期は検討しているのか。 ☆ 未定であるが、適地があれば早めに検討したい。 ・ 部会長 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 5ページ、「4 企画展 委託概要（郷土資料館）」について、来場者数と比較し、委託金額が高額な企画展がある。費用対効果については、どのように考えているのか。 ☆ 企画の内容によっては、委託金額が高額なものがあるが、職員のみに対応となると、手間と人件費がかかるため、委託のほうが適正と考えている。費用対効果についても、より多くの方に来館いただけるよう、周知方法について検討していく。 ・ 委員 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 『今、思い出す。懐かしいあの頃の暮らし～昭和の遊び（おもちゃ）を中心に～』の来場者数が少ない理由は、新型コロナウイルスの影響により開催期間を短縮したからか。短縮していなかったら、もう少し集客は望めたか。 ☆ そのように考えている。3月末までの開催の予定であったため、開催期間を短縮していなければ、来場者数は、もう少し見込めたと思う。 ・ 委員 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 委託先の選定については、どのように行っているのか。 ☆ 指名競争入札を行っている。また、金額によっては、見積合わせにて対応している。 | |

- ・ 部会長
 - 4ページ、「3 各施設のイベント内容（令和元年度）」について、「(1) 文化財センターのイベント内容」のうちNo. 2の「夏休み子ども体験教室」の参加人数が少ないのではないかと。募集定員もあらかじめ、少なめなのか。
 - ☆ 当該イベントは、古文書解説等の専門性のある内容のため、募集人数をしばり少人数で実施している。
- ・ 委員
 - 夏休みの子ども体験のテーマとしては、古文書の解説は難しいのではないかと。
 - ☆ 例年、大人向けに行っているイベントであるが、古文書を解説できる人材が不足していることへの将来的な危惧もあり、昨年度、子ども向けの開催を試みたところである。参加者には、非常に好評であった。
- ・ 部会長
 - 文化財をはじめとした専門性を求められる事業の担当者が陥りがちな点として、専門性を重視して、多くの人に馴染んでもらうという視点を忘れてしまう傾向がある。多くの人が楽しめるようなイベントを企画する等の工夫はできないか。
 - ☆ 小中学校にイベントの案内チラシを配布しているほか、歴史教室の出前授業等を行い、実際に文化財に触れてもらう等、文化財に馴染みやすい環境づくりを行っている。

ディスカッション

◆ 質疑応答を経て、委員同士でディスカッション

- ・ 委員
 - 両施設とも利便性が悪すぎる。例えば川口駅近辺に移転することはできないか。
- ・ 委員
 - 川口市民は文化財センターへ来館し、旧鳩ヶ谷市民は郷土資料館へ来館するといった棲み分けもありそうだがどうか。郷土資料館が移転となった場合、旧鳩ヶ谷市民からの反対はないのか。
- ・ 委員
 - 郷土資料館を分館として残すことも検討してよいと思うが、メインの施設を川口駅付近に集約しなければ、集客の増加は望めないと思う。
- ・ 委員
 - 文化財センターと郷土資料館の役割は異なるのか。分館を設けている理由が不明である。
- ・ 部会長
 - 原始・古代あたりはそれぞれ共通の展示であると思う。
- ・ 委員
 - 5ページ、「4 企画展 委託概要（郷土資料館）」に記載のある、『日光御成道展 大変だ！将軍様がやってくる！！』の来場者数が非常に多い。このようなテーマが川口市民のニーズにあっているのではないかと。良い内容であれば、集客は見込める。
 - イベントの告知について、より積極的に行うべきである。PRを現状の方法で行っているのは、市民に伝わらない。

- ・ 部会長
 - 集客への方策が、待ちの姿勢である。積極的なPRを行っていない。
- ・ 委員
 - 小学校へのPRは、どのように行っているのか。プリント配布等か。
- ・ 委員
 - 川口市のほぼすべての小学校が社会科見学していると理解してよいのか。
- ・ 委員
 - 出前授業が多いように感じる。施設の利便性が悪いので、学校側としても、出前授業のほう
が利用しやすいのではないかと感じる。出前授業に重点を置いてもよいのではないかと
感じる。

次回に向けた確認

◆ ディスカッションの結果について、部会長から事業担当課へ伝達

- ・ 部会長
 - 施設の移転と集約化について、検討中とのことだが、移転場所については、駅前等の利便性の高い場所が良いとの意見が多かった。また、文化財センターと郷土資料館の違いが不明確であるが、将来的に統合についてはどのように考えているのか。
 - 多くの集客があったイベントもあるため、的確に市民ニーズを把握し、イベントを企画すべきである。イベント企画に関する基本的な考え方があれば、提出してほしい。担当者がやりたいテーマだけでなく、来場者がやってみたい、行ってみたいという視点から企画を考えることが重要である。
 - 広報かわぐちやホームページへの掲載、学校へのチラシ配布等の一方的なPRでは、集客が難しい。PRに関してもう少し工夫が必要であると感じるが、この点についてどのように考えているのか。